我が街の記念碑 モニュメント 23

渋沢史料館

都電 飛鳥山駅 徒歩4分

【北・書記・高橋伸明通信員】飛鳥山公園は北支部で毎年開催している「大住宅デー」の会場でもありますが、公園の一角は、渋沢栄一が1879年から亡くなる1931年まで、初めは別荘として、後に本邸として過ごした「曖依村荘（あいいそんそう）」とよばれる邸宅跡です。

渋沢史料館は、近代日本経済社会の基礎を築いた渋沢栄一を称えるために「（公財）渋沢栄一記念財団」の付属施設として、1982年、渋沢栄一の旧邸跡に設立された博物館。現在では旧邸内に残る大正期の2つの建物「晩香廬（ばんこうろ）」と「青淵文庫」そして「本館」3つの建物を見学することができます（※）。

イギリスの田舎家のような晩香廬

近代日本経済の基礎築いた
渋沢の生涯を紐解く

晩香廬は、渋沢栄一の喜寿を祝って現在の清水建設が贈った洋風茶室です。晩香廬の外観はイギリスの田舎家のよう、1917年の竣工で、丈夫な栗材を用いて丹念に作られ、壁・建具や暖炉・薪入れ・火鉢などの調度品、机・椅子などの家具にも、設計者の随所に工夫を凝らしたデザインや細かい職人仕事が見られます。晩香廬は内外の賓客を迎えるレセプション・ルームとして使用されました。

青淵文庫は、渋沢栄一の80歳のお祝いと、男爵から子爵に昇格した祝いを兼ねて、渋沢記念財団の前身の竜門社が寄贈した鉄筋コンクリートの建物です。1925年の竣工で、栄一の書庫として、また接客の場としても使用されました。この青淵文庫の建物でまず目をひくのは外観の5本のタイル貼り列柱とステンドグラス。渋沢家の家紋「丸に違い柏」に因んで柏の葉がデザインされています。晩香廬と青淵文庫ともに、国の重要文化財に指定されています。

※渋沢史料館は、リニューアル工事のため2020年3月27日まで休館中です。

忘れえぬこと

新入社員で愛知出張
トラブルで1年帰れず

畳工　高梨俊一

私は現在59歳で父の跡を継いで畳屋をしていますが、20歳の時に専門学校を卒業して、まったく関係のない仕事に7年間勤めていました。

その会社は当時では珍しく人材派遣も行なっており、私は大手廃水プラントメーカーの現地の試運転の廃水分析でいきなり愛知県の知多郡美浜町に出張で行かされました。

専門学校で学んだとはいえ、4月に入社して2週間の特訓で何が何だか分からず名古屋から名鉄河和線に乗り美浜町に。しかも「経験者を頼んでいたのに、新入社員を育てる機関じゃない」と、きつい洗礼の中、気の小さい私は不安に満ち溢れました。翌日からいよいよ廃水の分析測定ですが、こんな精神状態では上手くいかず、いつの間にか1時過ぎ。やっと昼食をとりその日の仕事を終えました。

新入社員でもきつかったのですが、この現場が実験段階の廃水濃度と実際の濃度が違ってトラブルになり、地元の保健所の人質という形で約1年間滞在（1カ月に1回は東京に帰れました。選挙投票日にも帰してくれ、大切さも教わりました）。そのなかでも夜は宿で、大手のプラントメーカーの社員さんと一緒に酒を飲み、シャネルズのランナウェイを歌いながらも、なんとか逃げずにすみました。今考えるとこの経験が今の仕事や東京土建の役員や消防団や町会の役員に役立っているのではないかと思います。

20歳の忘れられぬ思い出が、まだ見たことのない世界を見たい好奇心が、今の私を支え、頑張れるのではないかと思われます。（江戸川）

人まぎま

どっちもどっち

「あいちトリエンナーレ2019」開幕直後、河村名古屋市長は女性像の撤去を愛知県側に求めた。翌日には「表現の不自由展・その後」の中止が発表され、行政の介入が問題となった。

今秋、奈良県が有権者2000人を対象に実施した「政治意識調査」で、政治思想・信条に深く関わる質問を多数出して批判が起きた。荒井奈良県知事は、設問内容は有識者任せで県は関与してないから問題ない、と責任逃れの説明をした。

詰将棋

持駒 なし

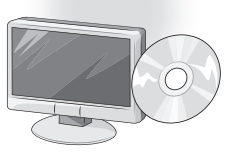
6	5	4	3	2	1	
						一
				王		二
		銀	歩			三
				桂	金	四
			香			五
						六

チョット一服（1004）

2019ユーキャン新語・流行語大賞の年間大賞は、「ONE TEAM」に決定したそうだ。ラグビーW杯での日本チームの活躍が印象に残り、爽やかで気持ちがいい、使いたくなる言葉だ。その他、トップテンに選ばれた中で世相を反映した、「計画運休」「軽減税率」「#KuToo」なども面白く感じられた。

自分だったらどんな言葉を大賞に選ぶだろうか。あいつぐ閣僚の辞任劇を受けて、「任命責任」であるとか、税金の私物化と批判を浴びた、「桜を見る会」などもいいかもしれない。政権を預かる人たちは嫌がるだろうが、記憶に留めておきたい言葉だ。

DVD ブルーレイ

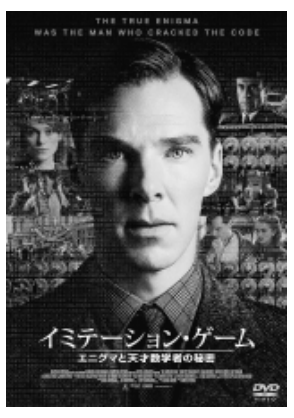


イミテーション・ゲーム エニグマと天才数学者の秘密
監督 モルテン・ティルドゥム

世界最強の暗号解読に捧げた人生

公務員に対して、家族も含めたマイナンバーカード取得の有無や理由を尋ねる調査が進められているらしい。事実上の強要政策の背景にあるのは、一向に普及しないマイナンバーカードに対する政府のいら立ちだ。そんななか、神奈川県庁から大量の個人情報などが流出との報道がなされた。何をか言わんや、である。

お粗末なこの国の事情をよそに、世界ではサイバーセキュリティをめぐる熾烈な覇権争いが繰り広げられている。ほどんどニュースにならなかったが、2016年8月に中国は「量子暗号衛星」を軌道に投入。これにより「情報セキュリティーの問題を永久に解決できる」とした。トランプ大統領のファーウェイ排除への一連の圧力は、水をあけられたアメリカの焦り以外の何ものでもない。

情報戦争において、重要な役割を果たしてきたのが暗号技術。『イミテーション・ゲーム／エニグマと天才数学者の秘密』（2014年英・米合作）は、第2次世界大戦中に世界最強といわれたナチスの暗号機エニグマの解読に取り組んだ天才数学者アラン・チューリングの波乱の人生を描いた映画。1939年、ケンブリッジ大学の研究者チューリングは政府の極秘任務を託され、エニグマ解読に挑むことに。解読チームには6人の精鋭が集められ…。

第87回アカデミー賞では作品賞、主演男優賞など計8部門でノミネートされ、脚色賞を受賞。主演のベネディクト・カンバーバッチが、「人工知能の父」と呼ばれた英雄にもかかわらず戦後悲劇の運命をたどったチューリングを、見事なまでに演じ切っている。